

# 皆さまの技術力を活用し、 ロケット部品製造に 挑戦してみませんか？

参加  
無料

講師 | 東京理科大学

創域理工学部  
機械航空宇宙工学科

教授 小笠原宏氏

三菱重工業(株)で四半世紀にわたり各種ロケットの設計・開発・運用、日本版スペースシャトルHOPEX、宇宙ステーションきぼうの設計・開発を担当後、H2Aロケット打上サービスの海外展開に尽力。2021年より東京理科大学で次世代宇宙エンジニア育成と宇宙輸送系研究に務める。宇宙旅客輸送推進協議会理事、日本航空宇宙学会フェロー。SpaceBD(株)社外取締役。

開催日時 2023年 10月2日 月 13:30~15:00

対象 ロケットやスペースプレーンの  
開発・製造について関心のある県内企業等開催場所 岐阜県庁 20階 2003会議室  
岐阜市藪田南2丁目1番1号

近年、活発化するロケット開発や、実現が期待されるスペースプレーンなど、民間主導による宇宙輸送機の開発が注目されています。

本セミナーでは、これらの開発トレンドや日本政府の動き、将来の宇宙輸送市場の展望などを学び、ロケットや宇宙旅客輸送のスペースプレーンの開発・製造に参入することを目指して開催します。

お申込みはこちら


<https://logoform.jp/form/T8mB/348005>

〔スペースプレーンとは？〕

- 翼がある宇宙輸送機のこと。高度100km程度の宇宙空間を經由して移動することで、地球上の2地点間をどこでも90分以内に移動できる高速2地点間輸送（P2P輸送）の実現が期待されています。
- 現在、実現に向けて世界的に研究が行われており、日本にも実現を目指すベンチャー企業が複数存在します。

参加費：無料

定員：60名（先着順）

概要：

- ぎふ宇宙PJ研究会の取組み（事務局）
- 活発化するロケットやスペースプレーンの開発（小笠原教授）
  - 開発の現状と将来展望
  - ベンチャーによる開発の活発化と日本政府による支援体制
- 質疑応答



Photo = NASA